

依頼型科学教室 申込みの手引き(第六版)

神奈川県立青少年センター

この教室は、県内の皆様が主催する科学活動の普及や啓発を目的とした行事・イベント等について、本センターの事業を提供するものです。運営に関する業務については、主催者の皆様をお願いいたします。

なお、お受けできる依頼は、県内在住・在学の青少年が参加する科学体験活動を行う個人・団体等とし、原則として参加費が無料の講座です。営利目的の依頼はお受けできません。

1 実施の相談 希望日の3ヶ月前まで

- ・電話(046-222-6370)にて依頼内容や実施希望日についてご相談ください。
- ・依頼内容につきましては、次頁「7 内容および会場について」をご参照ください。
- ・青少年センターの他事業への支障が無く、安全かつ計画的な実施が見込まれる場合に、実施を検討することとし、依頼者との打合せを設定いたします。
- ・同一団体からの依頼は、原則として1年に1回まで受け付けております。

2 申込

(1) 申込書の提出

申込書を科学部に郵送、電子メールまたはFAXでご提出ください。

3 実施の流れ

(1) 打合せ 実施2ヶ月前まで

実施会場の設備・備品、荷物の運搬方法、実施内容や必要な経費等について確認を行います。確認の結果、内容や時間の一部を修正させていただく場合があります。また、安全かつ計画的な実施が見込まれない場合は実施を見送らせていただくこともありますのでご了承ください。

(2) 講師派遣依頼提出 実施日の3週間前を目安に

当センター館長宛の文書(依頼団体代表者が決裁したもの)を科学部に郵送または電子メールで提出してください。

4 費用について 以下に示す経費につきまして、依頼団体にてご負担いただきます。

(1) 教材費

材料を必要とする「科学工作」等を実施する場合、材料の一部を各団体で購入していただきます。

打合せで実施内容が確定した後、購入していただく材料の具体をお知らせします。

(2) 運搬費

依頼者が手配した車両で運搬する場合は不要です。

依頼者が直接運搬できない場合は、依頼者の送料負担による郵送等も可能です。

(3) 交通費

当日に派遣する人数分の公共交通機関による往復運賃です。

支払方法は打合せ時に確認いたします。

(4) 講師報償費

講師が青少年センター職員の場合は不要です。

科学部の登録者(青少年センター主催「おもしろ実験・科学工作指導者セミナー」修了生)から講師を派遣する場合は一人あたり5,000円です。

(5) アシスタント報償費

主催者側で運営をサポートする職員やボランティア等を手配する場合、アシスタント報償費は不要です。

科学部の登録者からアシスタントを派遣する場合は一人あたり3,000円です。

5 実施 **当日** 次のような運営に関する業務は、主催者（依頼団体）にご担当いただきます。

- (1) 会場設営、現状復帰
- (2) 参加者募集、受付、案内
- (3) 開始、終了の挨拶
- (4) 保険料、材料費の集金（必要な場合）

6 報告書提出 **実施2週間後まで**

センター館長宛の文書（依頼者側の代表者が決裁したもの）を科学部に郵送または電子メールで提出してください。

7 内容および会場について 下記は一例です。詳しくはお問合せください。

(1) 実験ショー

(内容) 科学に関する1つのテーマについて様々な実験をお見せします。

テーマ	時間（目安）	内容
燃え方のふしぎ	30分	金属や気体を用いて燃焼の演示実験を行い、ものが燃えるしくみについて学びます。 ※火気の使用許可が必要です。
空気のふしぎ	30分	大気圧や表面張力など空気や水の持っている力を感じてもらいます。

(会場) スケールの大きい実験（空気砲など）も含まれるため、体育館や集会室などの広い会場をおすすめします。また、実験の内容を少なくすることで、教室で実施することも可能です。

なお、「燃え方のふしぎ」は火を扱います。「空気のふしぎ」はスモークマシンを使用します。**火災報知機や煙感知器に反応しないよう管轄の消防署や建物の管理者等に事前にご確認ください。**

(2) 科学工作

(内容例) 科学の原理を使った簡単な工作を行います。1回の実施で3つ程度の工作を行います。

参加者1人あたりに換算すると100円程度です。

工作名	時間（目安）	分野	工作名	時間（目安）	分野
バランストンボ	10分	重心	声でおどるヘビ	15分	音
3D バランス人形	15分	重心	シャウティング 碇	10分	音
ゆがむ線	10分	錯視	ファラデーモーター	15分	電気
ゾートロープ	15分	錯視	磁石のきつつき	20分	磁石
手書き 3D	15分	錯視	ペットボトル空気砲	15分	空気
ベンハムのコマ	15分	錯視	フープスター	10分	空気
ビー玉万華鏡	15分	光	ストローとんぼ	15分	空気
レインボースコープ	15分	光	ふうふうこま	10分	風の力
マジックウォール	15分	光	マジックボックス	20分	弾性力

(会場) 教室など、机がある会場で行います。スクリーンを使用できれば、書画カメラ（センターにて用意）で講師の手元の様子を投影することができます。手順が少ない工作であれば、体育館にテーブルを用意し1つの会場で、実験ショーと科学工作の両方を行うことができます。

(3) 星空教室

(内容) 天体の解説（主にその時期の星空について）および観察（晴天時のみ）

(時間) 90分

(会場) 天体の解説はプロジェクターを用いるため、スクリーンを備えている教室を使用します。観察は、望遠鏡の設置が可能な安全な場所を用意していただく必要があります。

(4) ロボットプログラム

(内容) プログラミングの解説とロボットを用いたプログラミングの実践

(時間) 120 分

(会場) 解説はプロジェクターを用いるため、スクリーンを備えている教室を使用します。

また、プログラミングのソフトを起動させるため、PCを使います。交流電源 100V を確保できる部屋を使用します。また、ロボットを動かすことのできる広いテーブルが必要です。

※2019年4月改訂

2020年4月改訂

2021年4月改訂

2022年6月改訂

2023年4月改訂